

ホタテガイ養殖管理情報

異常貝が増加するので早めの分散作業を

1 海況

10月10日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は21℃前後になっています（図1）。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝分散作業時の注意点

- 分散が遅れると、①異常貝増加（図2）によるへい死（図3）につながること、②成長不良の小さい貝の増加による冬季へい死につながることから、早めに作業を進めてください。
- 収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。
- 1段当りの収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数（1段当り10～20枚）を心がけて作業してください。
- 潮流による貝同士のぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

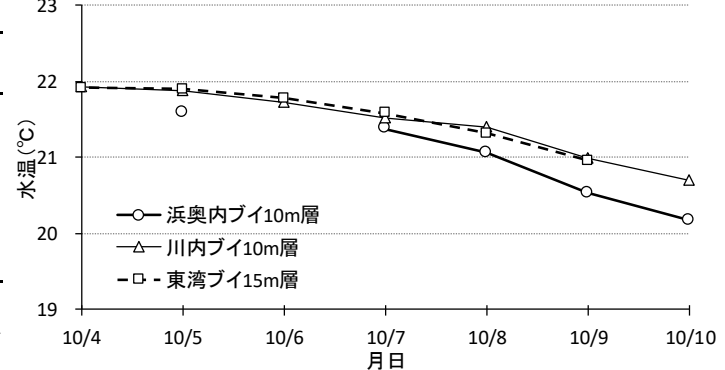
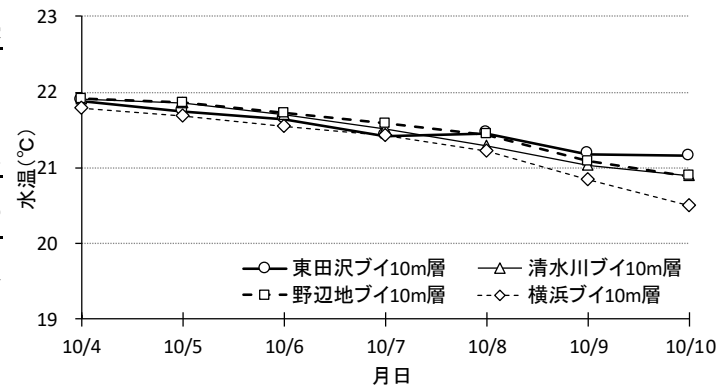
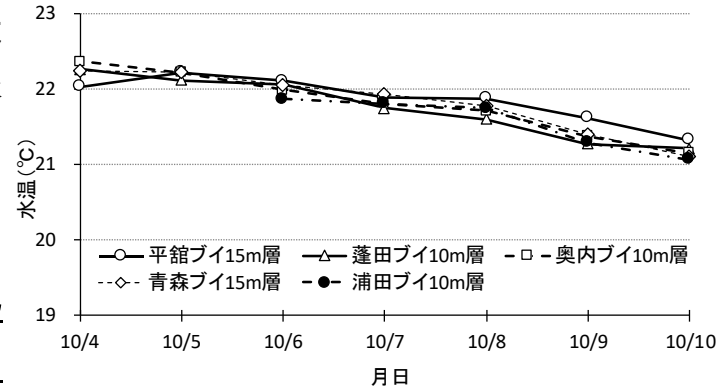


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

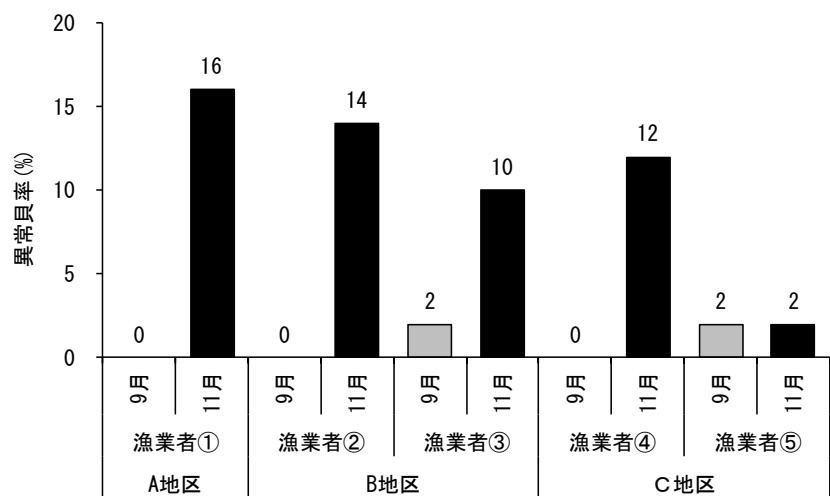


図2 平成29年9月、11月における稚貝分散時の異常貝率

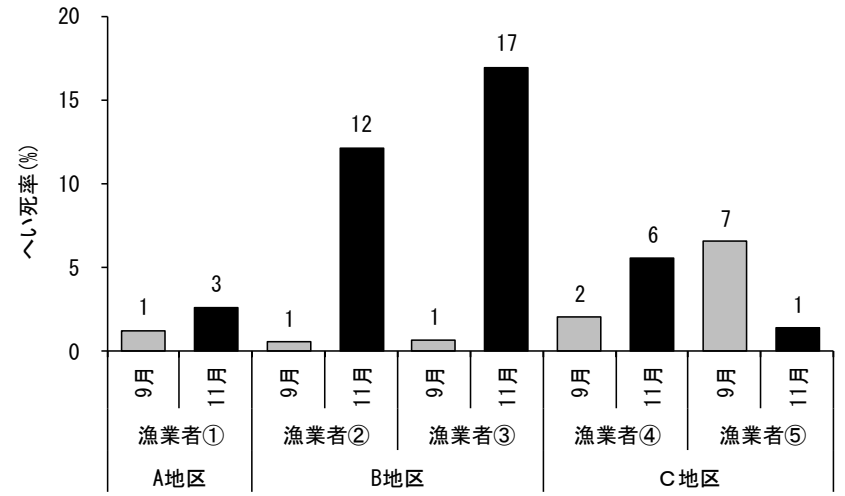


図3 平成30年3月における分散時期別の半成貝のへい死率

